

心と気合を竹刀に込めて 玉造剣友会

ぼくたち玉造剣友会は、剣道仲間が集まったスポーツ少年団です。

会員は、幼稚園児から高校生まで（時々、大学生や大人もけいこに参加しています）と幅広く、ニユータウン以外の地域から通っている人もいます。けいこは、毎週土曜日と日曜日の夕方2時間、玉造小学校の体育館で行っています。

いつもけいこを付けてくれるのは井手七段と神田五段。きょう指導してくれている神田五段は、普段は優しいけれど、怒るととても怖い先生です。特に



小さくたって負けないよ先生が話をしているときにおしやべりなどして聞いていなかった

りすると大きな雷が落ちます。

また、先生からは「もっと大きな声を出せ！」とか、「歩くんじゃない、すり足だ！」といったも注意されています。

今、ぼくたちの目標は12月に開かれる



私に勝てるかしら？

えっ、そればいいなと思います。みんな待ってるよ！



「礼に始まり礼に終わる」が基本です

県スポーツ少年団剣道交流大会の団体戦で、一つでも多く勝ち抜いて上位に進出することです。今までは素晴らしい成績を残せなかったのですが、ことしてはがんばりたいと思います。

ただ、人数が少ないので、なかなかほかの少年団に対抗できるチームがつかれません。だから、ぼくたちと一緒に剣道をする仲間がもっと増えたいです。

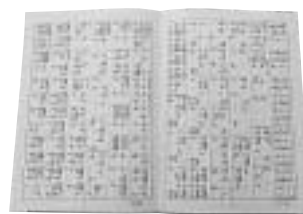
市長の

なかまと一緒に ● ● ● 音を創る喜びとハーモニーを楽しむ

箏曲雅び会

わたしたちは橋賀台公民館で、月3回 芹山雅裕貴（雅号）先生に箏を習っています。和楽器（音）が好きな人が集まり、平成9年の10月からサークルを始めました。

40代から80代と年齢層も幅広く、中には海外で生活をして、そこで日本の良さ、文化を学びたくなり、箏を習い始めた人もいます。



縦書きで記号化されている楽譜



力強く、やさしく、そして心を込めて

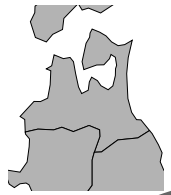


箏が大好きな仲間です（前列中央が芹山先生）

箏は流派によって、演奏時に使う爪や弾き方、楽譜まで違います。けれど芹山先生には、流派を超えて、大勢の人に箏を楽しんでもらい、良さを知ってほしいという情熱が感じられます。

箏の良さはやはりその音色と響きです。心がとてもなごみます。練習の中では、絃を右手で弾く前に、左手で絃を下へ押さへ、音の高さを半音・一音上げる「押し」という手法が、とても難しいです。押す強さや指の位置を反復練習し、体で覚えなければなりません。しかし、みんなと音が合い、自分の思い描いていたやわらかい音が出たときの喜びと感激は、言葉に表せません。今は、秋の公民館まつりに向けて、練習にも一段と熱が入っています。

田植えを手伝って から修学旅行へ



山田昭三さん(南平台)

わたしのふるさと、青森県むつ市です。下北半島の中央に位置し、近くには、日本三大霊山の一つとして有名な恐山があります。

わたしの両親は、父が大工、母が農業をしていました。子どもが家業や農業の手伝いをするのは当たり前前の時代でしたから、母の手伝いをよくしました。ちょうど修学旅行が田植えの時期と同じころで、手伝いごとが旅行に行かせてもらえる条件でもありました。行き先は札幌、青森へ出て連絡船に乗り、函館から夜行列車の旅です。3泊4日でしたが、うれしくて夜も寝ないで騒いでいたことを覚えています。わたしは5人兄弟姉妹の5番目。兄や姉は、学校を卒業すると親から離れて就職していましたが、わたしも卒業したら「自立するんだ」という考えでした。

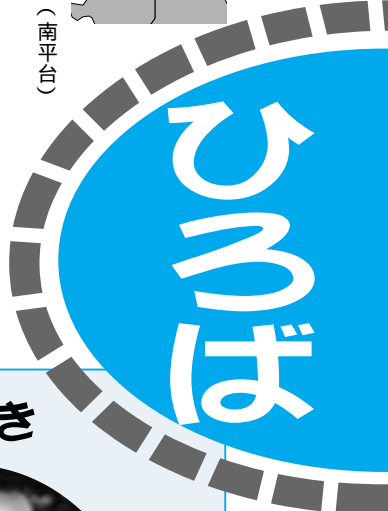


活気あふれる田名部まつり

就職は知人の紹介で八街の落花生屋に決まり、千葉県の住人。こうちに来て驚いたのは、冬に雪が降らないことです。ですからとても住みやすいと感じましたね。その後千葉市でコック見習いを経て、成田へ。成田はわたしの田舎に比べれば、にぎやかなところです。特に正月の出入にはびっくります。ゆっくりと正月を過ごす時間できたのは、南平台に自分の店を出してからのことでした。

毎年、8月18日〜20日に開催される「田名部まつり」に合わせて帰省しますが、いくつになってもふるさとはいまのむつ市。

ふるさとトーク 青森県むつ市



ペット大好き



横倉泰雄さん(中台)
モモ子(メス)

普段は室内で飼っているので、トイレは厳しくしつけました。ちょっとお病なところがありますが、とても健康なので、あまり手はかかりません。健康が一番ですね。

スクスクのびのび

渡邊明日香ちゃん
(6歳) 並木町

誕生日のプレゼントにゲームボーイのカセット「ハム太郎2」をお父さんに買ってもらうの。幼稚園では運動会のリレーやお遊戯の練習中。お母さん、スパゲッティ入りのお弁当を作ってね。



細野芳暉ちゃん(加良部)



こんにちは
赤ちゃん

小河内珠心ちゃん(橋賀台)

